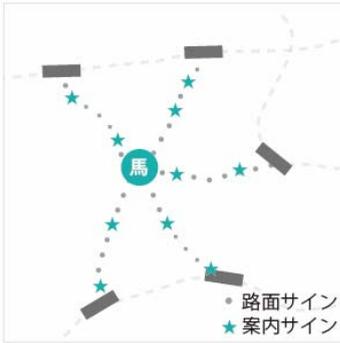


第3章 サイン整備計画の基本方針

3-1. サイン整備計画の基本方針

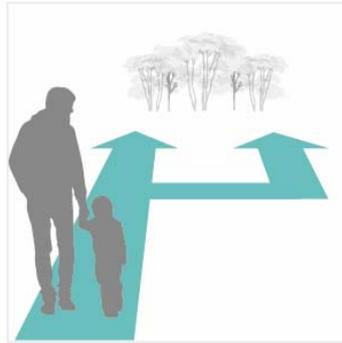
『うままちあるき』や『うままちワークショップ』、『うままちアンケート』を踏まえ、サイン整備における考え方をまとめた。ここでは、基本となる考え方として、以下の9つの視点で、サイン整備を行っていく。

■サイン整備計画の9つの視点



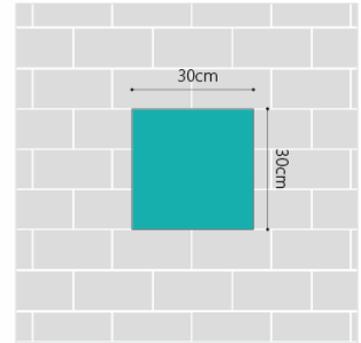
①サインの配置

最寄り5駅から馬事公苑までの誘導ルートを選定します。路面サインを設置し、交差点などの要所には案内サインを設置します。



②誘導するルート

歩きやすさや楽しさを考慮し、千歳船橋・桜新町・用賀では複数のルートを設定します。(経堂・上町は1ルート)



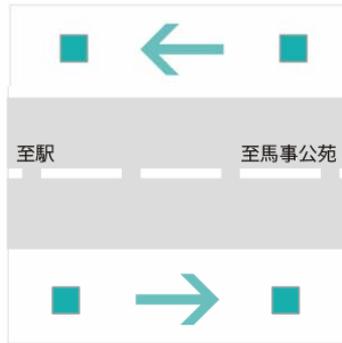
③路面サインのサイズ

視認性や既存道路の舗装デザインと調和するように、30cm四方のサイズとします。ブロック舗装にも違和感なく設置できる大きさです。



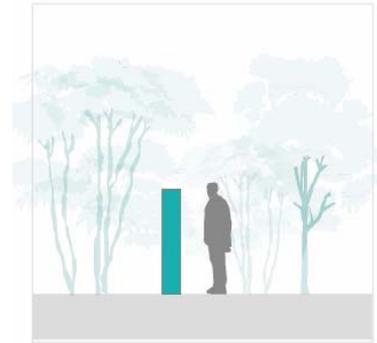
④路面サインの間隔

誘導するルート上の路面サインは目的まで楽しく歩ける間隔を検討します。



⑤路面サインの設置方向

路面サインは馬事公苑や最寄り駅を案内する方向に設置します。



⑥周囲との調和

緑豊かな世田谷を考慮し、まちの緑や住宅街でも調和するデザインを目指します。



⑦案内サインの表示内容

馬事公苑への方向と距離を明示し、誘導を行います。



⑧案内サインの設置場所

歩行者の妨げにならない場所に設置することを前提とします。



⑨5地域を繋げるサイン

けやき広場には最寄り5駅の地域を繋げる、拠点サインを設置します。

■サインデザインについて

9つの視点をもとに、実際のサインのデザインについて、以下のように整理した。

①サインデザインの基本的な考え方

- ・「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方によるデザイン。
- ・馬術競技が馬事公苑で開催されたことがわかるモチーフを使用したデザイン。
- ・案内サイン・路面サインを共通デザインで構成。
- ・直線で構成されたシンプルな形状とし、周囲に溶け込みつつ分かりやすいデザイン。
- ・落ち着いたトーンの色を基調としたデザイン。

■維持管理について

- ・案内サイン、誘導サイン及び路面サインについては、平成30年度に表示する内容などを詳細に検討する段階において、維持管理所管を確定する。
- ・なお、本計画で整備したサインの改修・撤去等については、管理者判断で行うこととする。